

平成 28 年度植草学園大学附属弁天こども園 学校評価保護者アンケート結果

－Ⅰ こども園の運営および園務の遂行に関すること－

この項目については、ほとんど好評価を得ている。特に 5・4・2 が 85%以上（5 評価 4 評価 合計で）と高かった。緊急事故発生時の対応や安全整備、遊具・用具等の整備には園としても研修や点検等を行っているので今後も続けていく。ただし、6 の「こども園の会活動への参加」については評価が低い（34%）「会の活動がよく分らない」「一部の会員や職員のみ会の会になっている」という意見もあるので、会の活動状況等を広く伝えるようにしていく。

1（42.1%）については、保育目標達成のための保育内容の検討等を職員全体で検討してきたが、見通しがもてない移行期であったので職員にとっては管理者のリーダーシップが特に必要な時であった。管理者は園の理念や教育方針等をしっかりと把握し園務にあたらなければならない。

－Ⅱ 子どもの援助に関すること－

この項目については、すべて 70%以上の評価で、保育理念でもある「一人ひとりの子どもの最善の利益を保障し…」に保護者も深く関心を示していて 8（86.2%）・3（82.6%）1（80.8%）が高い評価となっている。また、4（75.3%）・5（82.6%）・6（80.8%）については教育・保育目標を具体化したものであるため、それについても保護者の理解度が分る。

－Ⅲ 家庭や地域、小学校との連携、子育て支援に関すること

1（84.5%）については子どもの健康についての関心度の高さがわかる。引き続き家庭においても日常の健康観察、疾病予防等協力を得るようにしていく。

小学校や地域との協力体制については、すでに会議を開いたり情報交換をしたりしているので、そのことについても保護者に広く開示していく必要がある。